

One Year After March 11th: Memorial at the Seattle Kobe Bell

(邦訳)

日本の友達の皆様

本日は、ここ『神戸の鐘』広場にお集まりいただき、ありがとうございます。この広場は、日本国民と米国国民とが友情を確認し合うために集う、ゆかりある広場です。本日は、丁度 1 年前の東日本大震災で犠牲となった、2 万人近い方々に哀悼を捧げる機会であります。そして私達それぞれに『神戸の鐘』を撞きます。ご冥福を祈る私達の思いが、風に乗って響きわたっていくものと思います。



この 12 ヶ月にわたり、皆様よりは、東北地方の被災者に対し、多くの弔詞、募金、そして色々なご支援を頂いてまいりました。日本国民は、そのご恩を決して忘れることはありません。ここにシアトル市民、ワシントン州民、アメリカ国民に対し、心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

日本は、地震、津波、原子力事故の 3 重の災害により、深刻な打撃を被りました。私達日本国民には、試練に次ぐ試練が向こう何年にもわたり待っていることでしょう。しかし、私は楽観的です。第 1 に、日本国民は『ダルマ』です。困難に打ちのめされても、必ずや立ち直る国民です。第 2 に、日本国民は、今までに無く、老若男女を問わず、一致団結しています。第 3 に、そして何よりも、私達日本国民にはアメリカ国民という友達がいることです。本日ここにお集まり頂いている皆様。皆様の気遣って頂いている顔を拝見し、強い友情の絆を感じてやみません。

日本は、世界に『開かれた復興』をめざしています。皆様、是非とも日本にお越し下さい。
日本に投資して下さい、そして日本とビジネスをして下さい。私達日本国民は、必ずや見事にカムバックし、世界の人々を驚かせたいと決意しています。私達日本国民の決意と皆様米国国民の友情とで何ができるか、世界の人々に示そうではありませんか。

ご静聴ありがとうございました。

